

2021年8月

宮城県作業療法学会での演題発表支援について

宮城県作業療法士会学術部

宮城県作業療法士会学術部では会員の皆様に、県学会での発表（一般演題・事例報告など）を支援する方法について検討しております。今年度は以下のことについてご相談を受けながら、可能な支援を行っていきたいと考えております。なお、寄せられたご相談内容をもとに会員の皆さまが演題発表をはじめとして学会参加がしやすくなるような運営を検討してまいりたいと思います。まずはお気軽にご相談ください。

例えば以下のようなことで悩んでいませんか？

- ・学会発表に対する様々な不安がある
- ・発表をしてみたいが何から手を付けたらいいかわからない
- ・どのような手順で研究を進めたらいいかわからない
- ・研究疑問を明らかにするための研究デザイン（研究方法）がわからない
- ・学会抄録の作り方がわからない
- ・パワーポイントなどでのプレゼンテーション資料の作り方がわからない
- ・発表に対する質問にどのようにして答えるのかわからない など

具体的な支援方法

- ・宮城県作業療法士会学術部員または学術部が推薦する会員から助言が受けられます。
- ・助言は2名程度の複数人で行い、PC（オンライン）、電話、メール等、質問者と回答者が合意した方法で行います。
- ・回数は1～2回程度とします。
- ・どの程度の内容まで踏み込むかについての基準はありませんが、共同演者としての責任が生じない程度となります。このため、ご相談の内容によっては支援の対象外となることもありますのでご了承下さい（まずはご相談をお待ちしております）。
- ・回答者は守秘義務を順守します。

問い合わせ先

第22回宮城作業療法学会学術局 菅原 佳奈子（女川町地域医療センター）

Email アドレス kanakosu※jadecom.jp（※を@に変換し送信下さい）